

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを  
作りましょう」

高田ロータリー  
今年のスローガン

「善意を深め、  
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになるう

2018～2019年度

国際ロータリー会長 バリー・ラシン  
2560地区ガバナー 川瀬 康裕  
高田ロータリー会長 牧野 章一  
幹事 佐藤 教彦

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

## 第26回例会 ■ 2月1日(金)

No.26

### 会長挨拶 ● 牧野 章一



皆さまこんにちは一。厳寒の二月  
を迎えました。

本日は、大谷年度の地区役員委嘱  
状伝達がございます。

いよいよ当クラブのインスピレ  
ーションが組織という形に表れてきます。

当クラブは、クラブの役員・理事、委員会正副  
委員長などなど36のお役目(役割)があります。  
そして地区では、ガバナー・幹事・財務委員を始  
めとして副幹事、委員会正副委員長及び委員、実  
行委員会正副委員長及び委員そして諮問委員と  
21のお役目があり、合計57の役割を担ってい  
ます。(数は本日現在)

この57の役割は、ロータリーの「善意の力」  
好意と友情を一層協力し合う力に転換する機会と  
なります。理念にもとづく協力の仕組みが組織で  
す。

改めて、皆さまへお願いがございます。現会員  
数は64名です。ご案内の通り約60のお役がござ  
います。どうしても会員増強が必要です。会員増  
強!! どうでしょう。何人かのお顔が浮かびまし  
たか。浮かべてください。新会員のご推薦をお願  
い致します。

本日の卓話は、レルヒの会 理事長 相澤 紀様で  
す。演題は「レルヒさんが伝えた一本杖スキー」  
です。明日からレルヒ祭が始まります。タイムリー  
なお話が頂けると思います。ご清聴ください。

### 出席報告

出席率 100%

### メイクアップ

石田誠夫君・高橋正彦君(2/2米山奨学委員長  
セミナー)

### セレモニー

2018-19年度地区役員委嘱状伝達

佐藤憲二君

2019-20年度地区役員委嘱状伝達

大島精次君・東山昕也君・羽深耕時君・中田  
正君・石倉 悟君・齋藤尚明君・佐藤憲二君・  
伴 長門君・内山 徹君・チャールズ・C・スト  
ラットン君・飯塚宏佳君

米山記念奨学会

米山功労クラブ表彰

功労者表彰 中田 正君・羽深元悟君・横山修  
一君

ポールハリスフェロー

大谷光夫君・佐藤憲二君・高橋孫左衛門君・西  
脇 薫君

### 委員会報告

出席ニコニコBOX委員会

高橋孫左衛門君——本日、UX テレビで高田城  
と共に当店が紹介されました。

社会奉仕委員会——2/8オークション物品提供  
のお願い

親睦委員会——2月のお誕生日 各お祝い

ロータリー財団委員会——寄付のお願い

### 幹事報告

配布物：週報No.25、ロータリー財団・米山奨学会  
各寄付金領収書、抜萃のつづり

回 覧：ガバナー月信2月号

## 卓話

# レルヒさんが伝えた一本杖スキー



オーストリア・ハンガリー帝国のテオドル・エドラー・フォン・レルヒ少佐が日本にスキーを伝えて今年で108年になりました。

一本杖スキー（アルペンスキー術）の創始者はマティアス・ツダルスキーで、彼が6年をかけて一本杖スキー術を考案し、「リリエンフェルト・スキー技術書」を出版したのは明治30年（1897）でした。レルヒ少佐はツダルスキーの指導（1903～1904）を受け、明治44年（1911）1月5日に高田に着き、1月12日から金谷山を中心に一本杖スキーの指導を始めました。

一本杖スキーは、それ以前に普及していたノルウェー式スキー術（二本杖）が平地滑走に適し、アルプスのような急斜面での滑降には不安があったことから急斜面を安全に滑降する技術として確立されました。その特徴として次のことが挙げられます。

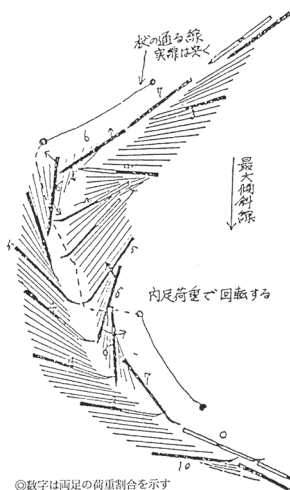
- ①ストックは一本
- ②踵の上がる締具
- ③足首の曲がる靴
- ④内側荷重による回転

レルヒさんが高田を去った（明治45年1月24日）後は、ノルウェー式スキー術が徐々に取り入れられ、二本杖が主流となっていきました。この

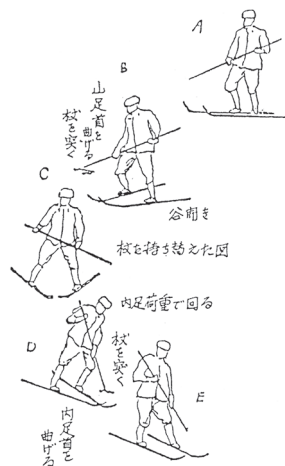
レルヒの会 理事長 相澤 紀様

ことは大正10年（1921）に金谷山で開催された全国スキー大会の写真に見る姿の殆どが二本杖であることから伺うことが出来ます。また、旭川でのレルヒさんの指導にはノルウェー式も取り入れられていることから、一本杖スキー術は、短い間の高田だけのスキー術であり幻のスキー術と言えるでしょう。

弧形滑降荷重図



弧形滑降動作



◎数字は両足の荷重割合を示す  
◎前の白いスキーは抜重することを示唆し、後が白いところは徐々に荷重することを示す

## 私もひとこと

# 良い物を時間を掛けて作っていく時代に



今回は、ロータリーの根幹である職業奉仕の立場から、私の職業である建築設計分野について皆様に理解いただくべく筆を取らせていただきました。

世の中は、こうなるであろう事は十分予測できていたはずですが、いざ実感として肌で感じて世はざわついております。

我が建築設計業界もご多聞に漏れず人手不足です。特に若者＝次世代がこの分野に不足しています。

私が大学生の頃は、まだ建築設計は理工系の花形でした。今や影が薄くなってしまい、情報・機械・化学系にその座を渡しております。

少子化時代に更に人気低下、このところ一級建築士受験者は10年前の6割（3万1千人）で合格率は20%以下、年間6,000人弱しか誕生していません。この数は現役減少に追いつかず、年々一級建築士は減少しております。

更に問題なのが、構造や設備設計を志す学生が

大雅建築設計事務所 橋詰 敏一 君

極端に減少しています。

このまま推移していくと、設計手法・工法を大きく変えていかないと業界として存続も危ぶまれます。

「衣・食・住」の住を担い、大切な資本・資産形成のお手伝いをさせていただいている我々の職業は、手法が変わってもなくなる事はないと考えています。若者が選びたくなる業界になるよう、遅きの感はありますが、業界全体で取り組み始めました。賃金、労働環境の改善が急務です。

それにしても、もっとじっくり時間を掛けて設計をしてみたいです。

今話題の新国立競技場（大成・梓設計・隈研吾チーム設計）は設計しながら建設が進められ、わずか3年で完成です。

ローマのコロッセオは10余年、早々に作ったものは早々に世から消えていくのは、建築界の常です。良い物を時間を掛けて作っていく時代を選択できないのでしょうか。